

～麻疹（はしか）に注意しましょう～

2016年（平成28年）9月6日

千葉県内で開催されたコンサートに麻疹発症中の患者が参加していたことや、関西国際空港の複数の空港職員が麻疹に感染していたことが判明（8月31日大阪府発表）するなど麻疹の感染拡大が懸念されています。麻疹はいわゆる（三日ばしか）とは異なり、感染力が極めて強く、時には重症化することもあります。発熱、せき、目が赤くなる、鼻水などの症状がある場合は、登校せず、最寄りの保健センターや医療機関に電話で相談し、早めに医療機関を受診しましょう。また、保健室（075-322-6024）に電話で報告し、指示を受けてください。

<麻疹とは？>

麻疹は感染力が非常に強く、今までに麻疹にかかったことのない人や麻疹のワクチンを接種したことのない人が麻疹ウイルスに暴露されると、ほぼ100%感染すると言われています。（厚生労働省ホームページより）

<麻疹の特徴>

- (1) 感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染
- (2) 潜伏期：10日～12日
- (3) 症状
  - ・前駆期：3日～5日間、発熱、せき、目やに、鼻水など（かぜ）に似た症状が持続する。
  - ・発疹期：一旦熱が下がるが再び高熱が出て、目の充血、顔、首、全身に発疹が現れ4日～5日間続く。
  - ・回復期：発熱はおさまり、発疹は色素沈着を残して消退する。
- (4) 治療：特効薬はなく対症療法。
- (5) 後遺症：麻疹ウイルスに感染後、数年から十数年以上経過して、進行性の予後不良疾患である亜急性硬化性脳症（SSPE）を発症する場合がある。（発生頻度：麻疹患者10万人に1人、ワクチン接種者100万人に1人）

<ワクチンについて>

麻疹にかかったことがなく、予防接種2回受けていない人は体調のよいときにMRワクチン（麻疹、風疹混合ワクチン）の接種を受けることが推奨されます。

※厚生労働省ホームページ等参照してください。